

# 演習Ⅱ

担当者 太田 一樹

開講時期 通年 単 位 8

## ●講義の概要

経営（学）の課題を分析し、理論的視点からその現象を探究したものを修士論文としてまとめる。論文の体裁も含めて作成のための作法も学ぶ。論文テーマのキーワードの一例を示すと、戦略、イノベーション、価値創造、アジア市場、生産性、日本的経営である。大企業だけでなく中堅・中小企業の経営を分析対象とする研究も推奨したい。

## ●講義の到達目標

講義の概要に関するテーマの修士論文が作成できるように、次のような能力を養い、そして論文に仕上げることを目標とする。

- ①講義の概要で示したキーワードなど経営学（広義）関連の基本的概念を理解する。
- ②経営学に関する専門書を能動的に読み、批判的に検討することができる。
- ③自らの力で経営現象を分析し問題設定できる能力と、それを修士論文に仕上げる能力を養う。

## ●講義計画

上記の到達目標が達成できるように次のような講義を予定している。

- ①経営学などの論文の輪読とディスカッション
  - ②研究の方法論に関するディスカッション
  - ③研究分野（修士論文）のテーマの探索の方法
  - ④フィールド調査（国内・国外のインタビュー調査など）
  - ⑤修士論文の作成
- \*自らが問題意識を持ち理論を参照しながら考える能力を涵養しつつ、多面的視点から修士論文を執筆できる能力を養う。

## ●成績評価基準と方法

上記の到達目標の達成度を測るために、次の方法で評価する。

- ①ディスカッションおよびプレゼン内容:30%
- ②修士論文の内容：70%

## ●テキスト又は参考文献

テキスト（研究論文）については修士論文テーマを勘案して相談しながら決める。また、参考文献については適宜紹介する。

## ●受講上の留意点

- ①経営学分野の知識を修得しておくこと。
- ②議論を建設的なものにするために、事前課題は必ずやってくる。
- ③できるだけ研究テーマの先行研究を意識しながら、自らの研究のオリジナリティを意識したディスカッションを丁寧に行うこと。
- ④経営理論に関する学術論文を批判的に読み、仮説検証の論理展開を意識しながら論文作成に取り組むこと。